

**2021.11.21**

**ニリンソウ自生地保護活動情報**

赤塚公園ニリンソウを守る会

akatsukanironso@gmail.com  
赤塚公園サービスセンター  
03-3938-5715  
編集責任：運営サポーター／木村  
090-8646-9757



**ニリンソウを守る会  
12月の手入れ活動  
1回増やしました！**

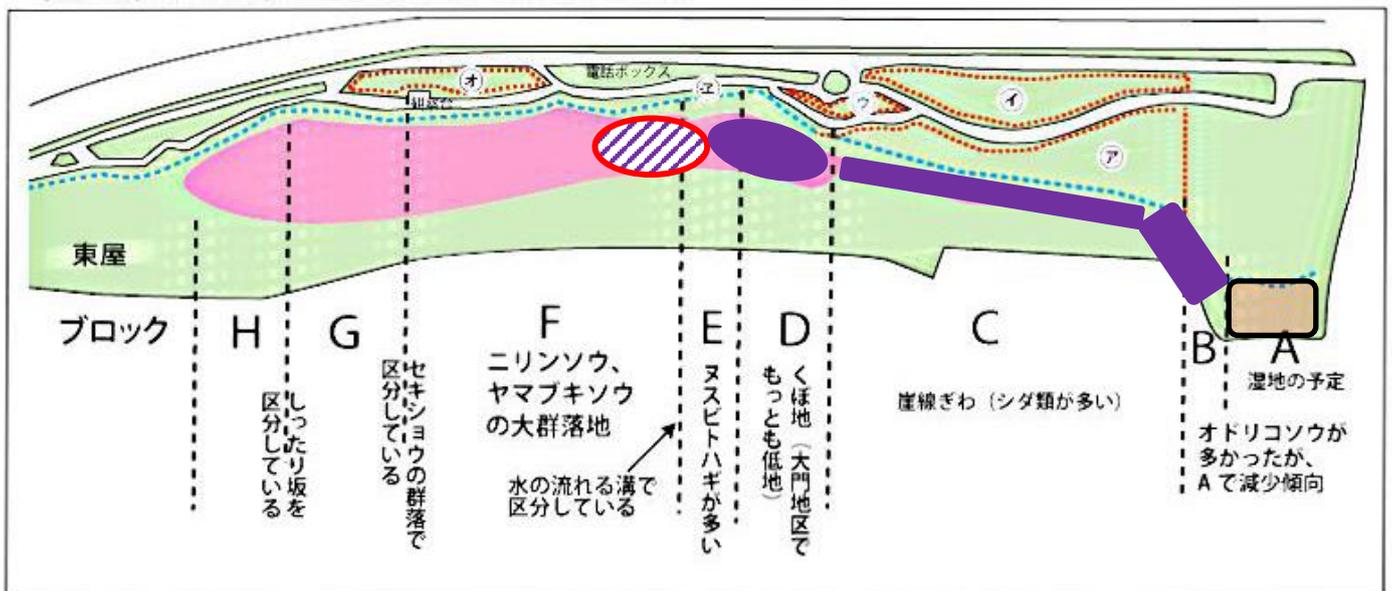
★12/12 ★12/19 (雨天予備日を活動日に変更)  
いずれも日曜日 10:00 大門観察台集合  
★誰でも参加できます！ 飛入り参加も歓迎！

肌寒い曇空でしたが、11/21は16名の参加で  
下記マップの赤枠斜線部分で作業しました。  
(紫色塗りつぶし部分は草刈り終了エリア)

**ニリンソウのメインステージで  
キチジョウソウを抜き取りました**



←春にはニリンソウとヤマブキソウが咲き乱れる斜面でのキチジョウソウとアズマネザサの刈り取り。11/14には中の写真まで進み、↑11/15はさっぱりとしました。紐で囲んだところはイヌシヨウマの群生場所で刈り取りをしない場所です。



# 去年とは違う林の植物相

ニリンソウ自生地の保護作業が手掛けられたのは今から 39 年前の 1982 年でした。最初の 10 年間はニリンソウの生態や開花状況を調べて記録に残す作業が中心で、草刈りなどの手入れ作業は夏になると一面を覆ってしまうアズマネザサやクズの刈り取りが中心でした。10 年後の 1992 年から一年中日陰をつくるシロダモなどの常緑樹を除伐して本格的な林の維持作業を続けてきました。でも、林は毎年同じ様相をしているわけではありません。

前ページの右の写真の紐で囲んだ**イヌショウマ**は当時から生育していたのですが、これほど大きな群落ではありませんでした。その代わりに、冬場まで咲き続けている花は右の写真のように見事に



咲きそろっていました。しかし、最近 10 年近く、花の付き方はまばらで勢いを失っているようでした。その一方で、林のあちこちに新しい株が育ってきているのです。もしかしたら、新たに生え



てきた株には昔のような見事な花が咲くかもしれません。

←シダ植物の**オオハナフラビ**はこの数年、少しずつ増えてきていましたが、今年は作業前の事前調査でメインステージの東寄りからかなり広い場所で確認しました。再調査に入ったメンバーがさらに数株を発見して、そしてまた草刈り作業中にも発見という具合に林に入り込むたびに増えているのが認められます。

ニリンソウの保護活動の目的は**ニリンソウだけを増やす活動ではありません、ニリンソウに代表される林の野草ができるだけたくさん生きやすい環境をつくること**ですから、保護活動は「うまくいっている」と自己評価できると思います。

## ニリンソウの根茎からぽっちりと葉の芽

イモムシのように見えるのがニリンソウの根茎（根のような姿をした茎）。その先端のぽっちり白いのが葉の芽。ニリンソウは落葉の下でもう活動を始めていました。



そのほかに  
越年草（人間

の暦の年を越して生きる 1 年草）のジロボウエンゴサクも若い芽を出していました（左の写真）。

これらの野草が伸びだしてからは林の中に入ると踏みつけて殺してしまうことになりまので、春になってからの手入れはできないということです。今が手入れのかき入れ時なのです。

## それでも草刈り作業は間に合わない

毎回たくさんのボランティアのみなさまに作業していただいています。それでも手が足りません。12 月の手入れ活動は予定よりも 1 回増やして 12/12、12/19 の 2 回行います。

**一人でも多くの方のみなさまのご参加をお願いいたします。**

